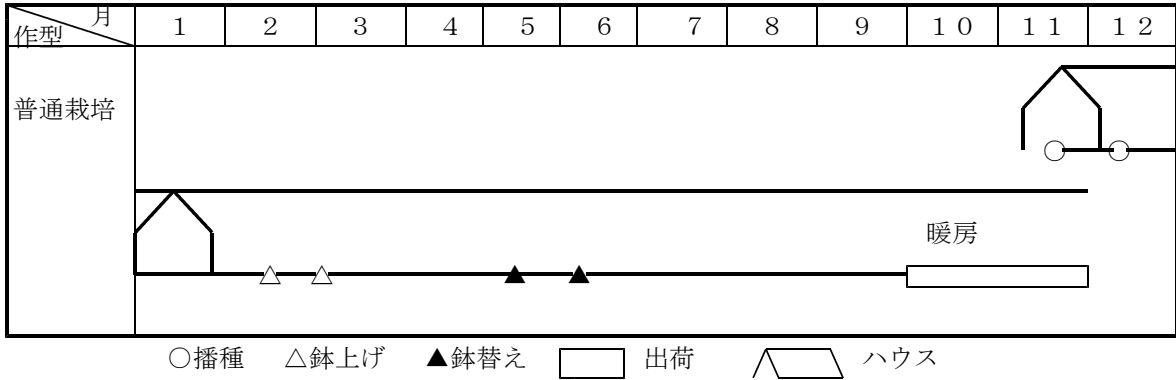


作目名	シクラメン
-----	-------

作型名	普通栽培
-----	------



○技術体系設定の前提条件

(1) 対象地域

西濃、中濃、東濃

(2) 立地条件

a 気象条件

夏季高温の所では、夏越しが困難で、病害の発生が多い。夜温が20℃程度に下がる地域が適する。

冬季は暖房を必要とし、温暖で日照量が多い気候が有利である。

b ほ場条件

加温装備を有したガラス温室、ビニールハウス等。

(3) 栽培時期別施設必要面積と目標数値

10a当たり目標数量 8,000鉢/5号鉢(15cm)

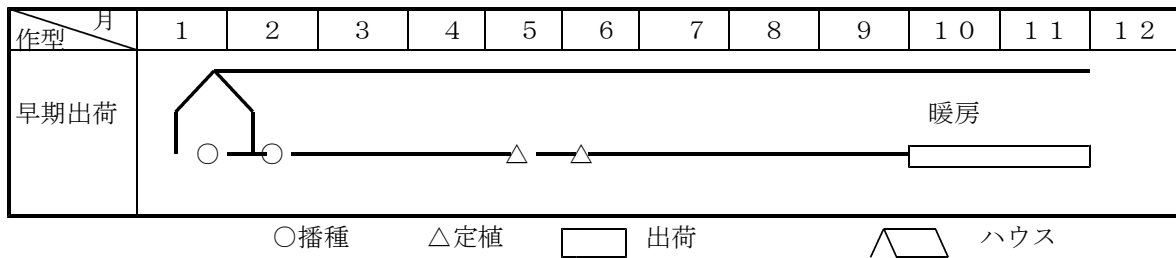
表1 シクラメン栽培時期別施設必要面積等

項目	生育期	播種～育苗期	鉢上げ中苗期	定植鉢替え期	鉢広げ～開花期
鉢の大きさ		育苗箱	9cm (3号鉢)	15cm (5号鉢)	15cm (5号鉢)
期間 月～月		11～3	3～6	6～9	9～11
100鉢当たり占有面積 m ²		0.5	1.3	7.0	8.6
3. 3 m ² 当たり鉢数		700～900株	250鉢	47鉢	38鉢
10a当たり種子・苗数		種子 18,000 粒	鉢上げ 12,000 鉢	鉢上げ 10,000 鉢	出荷 8,000 鉢

◎施肥事例

月	生育ステージ	施肥方法	肥培管理のポイント	
5	側芽形成期	固形肥料 (5-10-15, 1.2g) 固形肥料 (8-25-8, 1.2g) 固形肥料 (8-10-15, 1.2g) 固形肥料 (12-10-12, 1.2g) 固形肥料 (12-10-12, 1.2g)	・鉢替え後1～1.5ヶ月は調整ピートモスに含まれている肥料分があるため、施用しない。	
6				
7	花芽分化期		・夏季は地温が高いため、緩効性肥料を使う。	
8				
9	花芽発達期		・花芽分化期は窒素成分が低く、りん酸が高い肥料を使う。 ・花芽発達期には肥料成分が高いものに切り換えていく	
10				
11	開花期		・生育状況に応じて液肥1,000～1,500倍(15-15-15)を灌注する。	
12				
総施肥量			N : P : K = 540mg : 780mg : 624mg	

作型名	早期出荷 (ミニシクラメン)
-----	----------------



○技術体系の前提条件

(1) 対象地域

西濃、中濃、東濃

(2) 立地条件

a 気象条件

夏期冷涼で、夜温が20℃程度に下がる地域が適するが、ミニシクラメンは生育が強健で暑さに比較的強いいため、普通栽培より適地域は広い。

b 加温装置を有したガラス温室及びビニールハウス

(3) 栽培時期別施設必要面積と目標数量

10a当たり目標数量 45,000鉢/3号鉢 (9cm)

表1 シクラメン栽培時期別施設必要面積等

項目	生育期	播種～育苗期	定植鉢上げ期	鉢広げ～開花期
鉢の大きさ		育苗箱	9cm (3号鉢)	9cm (3号鉢)
期間 月～月		1～5	5～9	9～11
100鉢当たり占有面積 m ²		0.5	1.2	1.5
3. 3 m ² 当たり鉢数		700～900株	271鉢	214鉢
10a当たり種子・苗数		種子 68,000 粒	鉢上げ 57,000 鉢	出荷 45,000鉢

◎施肥事例

月	生育ステージ	施肥方法	肥培管理のポイント	
5	側芽形成期	固形肥料 (5-10-15、0.6g) 固形肥料 (8-25-8、0.6g) 固形肥料 (5-10-15、0.6g)	・鉢替え後1～1.5ヶ月は調整ピートモスに含まれている肥料分があるため、施用しない。	
6				
7	花芽分化期		・夏季は地温が高いため、緩効性肥料を使う。	
8				
9	花芽発達期		・花芽分化期は窒素成分が低く、りん酸が高い肥料を使う。	
10				
11	開花期		・ミニシクラメンは窒素成分が高い肥料では草姿が崩れやすいので使わない。	
12				
総施肥量			N : P : K = 108mg : 270mg : 228mg	